

広報

せいざんかい

2011

第13号

発行
平成23年4月20日



4月1日開所となったたんねの里

社会福祉法人 せいざんかい 泚山会

いこいの里

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1115 柏崎市大字佐水3140
TEL 0257-29-3800 FAX 29-3350
E-mail ikoi@theia.ocn.ne.jp

柏崎市南地域包括支援センター

TEL 0257-31-4515 FAX 31-4525
E-mail minamihokatsu@cosmos.ocn.ne.jp

柏柳の里

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)
- デイサービスセンター

〒945-1502
柏崎市高柳町岡野町2254-1
TEL 0257-41-2202 FAX 41-2203
E-mail hakuryu@almond.ocn.ne.jp

くじらなみ

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)

〒945-0855
柏崎市鯨波2丁目4番3号
TEL 0257-32-1120 FAX 32-1121
E-mail kujiranami@trad.ocn.ne.jp

たんねの里

- 特別養護老人ホーム(長期)

〒945-0857
柏崎市大字谷根3190番地1
TEL 0257-26-2055 FAX 0257-26-2033
E-mail tanne@clear.ocn.ne.jp

たんねの里 竣工

当法人四番目の特養「たんねの里」が完成しました。同施設は、平成二十二年三月で閉校になった旧上米山小学校校舎を改修、増築した地域密着型の特別養護老人ホームです。さる三月二十六日午前十時から竣工式を行いました。約六十人の多くの関係者の方々からご出席いただき、柏崎市長をはじめ地域代表の方からもこの施設への期待の言葉をいただきました。

星山理事長は挨拶の中で、「地域の要望を受け、百三十五年の歴史を刻んだ小学校校舎を改修し、地域密着型の施設として桃源郷のような自然豊かな地で、ゆつくり、静かに余生を送れる地域に開かれ、信頼される施設を目指したい。入所定員が二十九名と小規模のため、経営環境は厳しいですが、三つの施設のノウハウ

を生かしたい。」と述べました。



星山理事長



会田市長

会田市長は、「緑に囲まれ、柏崎市の水源であるこの自然豊かな谷根の地に新たな介護施設ができたことは大きな喜びであり、高齢者福祉の一層の増進に寄与する。開設にあたっては、泚山会、地元町内会に厚くお礼を申し上げます。」

と述べました。地元代表からは、「地域では旧小学校校舎の活用を研究し、市並びに泚山会様へ要望し、実現の運びとなった。待ちに待った竣工、心からお祝いを申し上げます。施設とより良い関係を持ち、地域の施設として守っていききたい」と喜びを表しました。最後に職員二十六人を代表して園長から「入所定員は二十九名と規模は小さいですが、家族や地域のつながりを大切にしながら家庭的な雰囲気の中で過ごしていただくよう努力すると述べました。」

たんねの里

笑顔があふれるように



たんねの里 園長 山崎 昇司

おかげ様で特別養護老人ホーム「たんねの里」が四月一日開所いたしました。園長職を務めることになりました。何卒よろしくお願いいたします。開所に際しては、多数の入所申込みをいただき誠にありがとうございます。

「あなたの毎日に笑顔があふれるように、地域と共に寄り添っていきます」を施設の理念に掲げ、入所定員二十九名と小規模ですが、家庭や地域のつながりを大切に家庭的な雰囲気の中で過ごしていただけるよう努力してまいります。また、水源の里として豊かな自然環境の中でゆったりとお過ごしただけでなく、職員力を合わせて支援してまいります。今後ともお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

小規模特養の特色を

生活相談員 三五 健太

たんねの里は、入所定員二十九名の地域密着型の特別養護老人ホームです。地域密着型とは、住み慣れた柏崎という地域で、より家庭的な雰囲気を感じながら、今までの生活が継続できるようにという考えのもと、推奨されているサービスです。

私たちは「あなたの毎日に笑顔があふれるように、地域と共に寄り添っていきます」という基本理念を柱に、その人らしい生活を送っていただけけるよう、一人ひとりの個性や生活リズムに合わせたケアを目指します。利用者の方には、一ユニット十人以下とした家庭的な雰囲気を感じながら、安全に、安心して暮らせるように職員が寄り添います。少しでも理念に近づけるように、職員一丸となつてケアに当たつていききたいと思えます。また、利用者の方には、介

職員の状況

園長	1名
事務員	1名
生活相談員	1名
看護職員	3名
介護職員	16名
栄養士	1名
調理員	3名
用務員	1名



職員一同

～「あなたの毎日に笑顔があふれるように地域と共に寄り添っていきます」を基本理念に努めてまいります。～

地震災害が続き、不安の大きい毎日ですが、しっかりと現実を見て着実に前に進みたいと思っています。いこいの里は昨年と同様、今年も次の点について取り組みます。

- ・地域に根ざした施設になる為に、地域のニーズとは何か、施設の役割は何かを常に考えすすめていきます。
- ・福祉分野では人材不足が続きますが、教育体制を整備し、いこいの里で働いてよかったと思える魅力ある職場を目指します。
- ・利用者のご希望に応えられるよう一人ひとりに合ったケアをすすめます。
- ・その方が最期まで施設で過ごしたいと思われる場合等は、看取りの取り組みも行います。
- ・障害者雇用を定着し、お互いが認め合って信頼の中で協働できるように努め、そして地域に開かれた施設となるように取り組みます。
- ・職員一人ひとりが、専門職として自信をもって働ける施設であり、利用者にとって安心して暮らせる施設を目指していきます。職員と力を合わせて一杯やりますのでご支援のほどをよろしくお願いいたします。



園長 佐藤 澄江

平成二十三年度をむかえて

いこいの里

利用者から喜ばれる施設、家族から信頼される施設、地域から選ばれる施設を目指します

平成23年度 運営方針

特別養護老人ホーム

利用者主体のサービスの提供

利用者一人ひとりの尊厳を守り、ニーズや状況に応じたサービスを適切に提供します。



安全で快適なサービスの提供

介護事故防止、個人情報保護、苦情・要望に適切に対処します。



専門性をもったサービスの提供
職員の専門性を高め、より質の高いサービス提供に向けた取り組みを行います。

地域との連携

地域の高齢者福祉の拠点として施設の機能を発揮し、地域福祉に貢献します。地域との交流を積極的に進めるとともに、福祉の人材育成にも取り組んでいきます。

食事

食べる楽しみを重視し、おいしい食事の提供を目指します。



健康管理

日常の健康管理を大切に、感染予防体制、平常時・発生時の迅速適切な対応を図ります。

短期入所生活介護

個別の状況やニーズに合わせた介護サービス・健康管理・機能訓練等を行い、質の高いサービスを提供していくことを目標として取り組みます。

通所介護

利用者一人ひとりの状態に合わせたサービスを提供していきます。利用者や家族の意見を取り入れ、柔軟な支援を行っていきます。また、接遇面に力を入れ、利用者により「また来たい」と言われるデイサービスを目指します。



居宅介護支援事業所

その人がその人らしく地域で生活することができるように、保健・医療・福祉サービス及び地域の資源を組み合わせることにより、自立した生活の実現が図れるよう支援していきます。

柏崎市南地域包括支援センター

柏崎市から委託された高齢者の総合相談窓口です。介護や福祉・健康等の相談をお受けし、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援致します。

Pick Up

職員の資質向上を目指して

総括主任 池田 貞夫

施設、在宅の利用者の皆さんに喜んでいただけるサービスを提供し続けるためには、職員一人ひとりが成長し続けることが必要です。

職員が知識や技術を学ぶ機会を持てるよう、外部研修への参加と共に、園内研修への参加を促しています。

園内研修では主に、感染症、事故防止、虐待防止、救急法、看取り介護、認知症、職員のリフレッシュ等をテーマに、外部の講師を招いたり、グループで話し合ったり、体を動かしながら学んだり、と様々な内容を計画しています。

いこいの里では、多職種が職種に関係なく一緒に研修に参加しています。職員一人ひとりが興味を持って参加できる研修になるよう、研修委員会を中心に取り組んでいきたいと思ひます。

また、介護職の新人教育については担当制とし、担当が業務を教えるだけでなく相談相手となることで、新人職員が抱える不安や緊張を解消しながら成長していける体制を整えていきたいと思ひます。今年度、法人では新人教育支援やリーダーシップ研修が計画されています。この研修を活かし、一歩一歩進んでいきたいと思ひます。



たんねの里 施設の概要

建物は、鉄筋コンクリート一部鉄骨作り三階建てです。延べ床面積は一七四〇・一〇㎡、うち旧校舎(一八三・八三㎡)を改修、エレベータ・避難階段(二〇〇・一〇㎡)、一階居住棟(三五六・一〇㎡)を増築しました。

外観は明るいベージュ系で、旧校舎のイメージを大切にし、アクセントに濃い茶色をほどこしました。

居室は二十九床のうち個室が二十七日室、夫婦部屋が一室です。一階に管理部門と居室十室、二階十室、三階九室となっております。



○居室 二十九室
個室 二十七日室
夫婦部屋 一室



○入浴設備 特殊浴槽 二台



3階 食堂・リビング

○食堂・リビング 各ユニット

～県産材を使用しています～

1階地域交流室の腰板部分や増築部分の床板部分には県産材を使い、温かみのある雰囲気となっております。

～越後杉フランド材使用施設～

当施設では、「越後のふるさと木づかい事業」により、建物の一部に「越後杉フランド認証材」を使用しています。

越後杉フランド材使用箇所：1階 居住棟
1階 地域交流室

特別養護老人ホーム たんねの里



1階 地域交流室



1階 談話コーナー



1階 渡り廊下



1階 食堂・リビング

「特養くじらなみ」は、今年度、開設五年目という節目の年を迎えます。思い起こせば、平成十九年七月の開所後約二週間での中越沖地震による被災。長期入所は、開設したものの、短期入所は、一ヶ月遅れの時間差スタートとなり、順風満帆とは言えない先行き不安な状態での船出となりました。

しかし、着実に利用率は向上し、職員の確保・教育も順調に進み、かつて私が経験したことが無い程の低い離職率で、安定した施設経営を行っております。職員の働く環境が良ければ、必然的に入居者・利用者の方々へのサービスの質も向上でき、施設全体のイメージアップに繋がるものと考えております。

五年目を迎える今年度、初心を忘れることなく、介護のプロとしての意識を常に持ち、更なる飛躍を目指して、職員一同一丸となって介護にあたって参ります。



園長 矢嶋 文博

節目の年を迎え更なる飛躍を！

くじらなみ



園長 岡庭 豊子

十五年目を迎えて

柏柳の里

日頃より柏柳の里の運営にご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

四月には法人四つ目の特養「たねね里」が開設し、当施設からも中心となる職員が異動致しました。新年度にフレッシュな新人職員を迎え人材育成に励むつもりです。

柏柳の里の基本理念「地域に根ざした豊かな介護を提供します。」をモットーに顔なじみの関係を大切にしています。今年の大雪には、我が家の様に心配して下さる地域の方々に支えられ、共存共栄できる施設として歩んで参ります。

開設一五年目を迎え、昨年はマイクロバスの入れ替え、今年に入浴設備・特殊浴槽の更新と皆様の生活の安全を第一に心がけています。

今年度も宜しくお願い致します。

平成23年度 各部署より抱負

主任生活相談員 松崎 健
地域の皆様に愛される施設を目指し、今年度も取り組んでいきます。

総括介護主任 内山 一也
笑顔を決やさず、利用者の皆様と向き合い、寄り添う介護に努めます。

看護主任 入澤 重子
利用者の皆様が、その人らしく生活できるよう健康管理に努めます。

管理栄養士 倉部 望
「食べる楽しみ」を感じてもらえるような食事作りに努めます。

機能訓練担当 佐藤 学
皆様がいつまでも、いきいきと過ごされるよう、支援してまいります。

ショートステイ介護副任 大塚あや子
ご利用者の状態に応じた日常生活を、安心・安全のもと、支援します。

デイサービス介護副任 関矢 順子
一人ひとりのお気持ちを大切に、笑顔と真心で憩いの場を提供します。

平成23年度 運営方針

くじらなみの理念「あなたらしい生活を大切にします。」

特別養護老人ホーム

利用者本位のサービス提供

- ユニットごとに家庭的な雰囲気の中で個別ケアを行います。
- その人らしい生活支援をするため、入居者や家族とのコミュニケーションを密にします。また、食事、排泄、入浴、口腔ケアの各委員会の充実を図ります。

安全で快適なサービスの提供

- 介護事故の防止、身体拘束ゼロ・虐待をしないケア、苦情要望に反映したケアを行います。
- 個人情報の保護、防災対策、感染症対策に関してさらに強化します。

専門性をもったサービスの提供

- 職員のレベルアップを施設内外研修、各ユニットや部署での評価、自己評価表にて実施します。
- 法人で実施される新人・中堅職員の研修会に参加し、さらに専門性を高めます。

地域との連携

○地域とのつながりを深めるため、地域の行事に参加、ボランティアの方との交流をします。

看護

○看護職員と介護職員によるケア連携協働のための研修を実施します。

食事

○その人らしい生き方を支える食事と栄養ケアに努めます。

ショートステイ

- 利用者から「また利用したい。」と実感できるサービス（おもてなし）を提供します。
- 安心、健康、過ごしやすい環境で利用していただけるように努めます。

介護予防

○地域で生活する高齢者が「活動的に、元気に、長生き。」することを目標に運動器機能向上サービス（パワーリハビリ）を提供します。

研修委員会より

昨年度は、介護に関すること（食事、入浴、リハビリ、口腔ケア、記録、ユニットマニュアルの見直し）、医療に関すること（救急法、感染予防など）、事故防止などの研修会を毎月実施しました。

また、外部講師から「接遇について」、施設の主治医から「高齢者にかかりやすい病気について」講義していただきました。

研修に参加した職員からは、「現場で活かしていきたい」「再確認できた」「専門の人からの講義が聞けてよかった」などの感想が多くありました。

今年度も、大勢の職員が参加できるような内容を計画し、「あなたらしい生活を大切に」するため、より質の高いサービスが提供できるようにしたいと思います。



入居者・利用者の声を第一に受けとめ、あなたらしい生活を大切にしていきます。

法人からのお知らせ

居宅介護支援事業所の 体制強化について

当法人では、いこいの里、柏柳の里にて居宅介護支援事業所を開設しておりますが、居宅介護支援事業所の体制強化を図るため、平成二十三年四月一日付で柏柳の里の同事業所をいこいの里の同事業所へ統合いたしました。つきましては人員を増員し、サービスの拡大と強化を図ってまいります。統合に伴い、平成二十三年三月三十一日付で柏柳の里の同事業所を廃止とさせていただきます。なお、柏柳の里で担当しておりました利用者のみなさまにつきましては、ご希望に沿って対応してまいります。今後とも何卒よろしくお願いたします。

職員研修への取り組み

今年度の取り組みとして、法人にて新人職員と中堅職員を対象に研修プログラムを計画しております。

新人職員については、介護用語や職員間の連携をとるためのコミュニケーション技法、認知症への理解など基礎的な理解を深めます。また、中堅職員については、介護についての現状の分析、職員同士や新人職員とのコミュニケーション法、新人職員指導における注意点等演習も交えながら行います。この研修を通してさらに職員の資質向上に取り組みてまいります。

研修スケジュール

【新人研修】

- 五月 介護用語の徹底理解
- 六月 認知症の症状と対応
- 七月 職員間の連携と方法
- 【リーダーシップ研修】
- 五月～六月 介護概論
- 八月～十月 記録について
- 十一月～一月 カウンセリングについて
- 二月～四月 指導法について

ボランティア紹介



柏柳の里 地域の方々といっしょに笹団子作り



いこいの里 動物ふれあい訪問



くじろなみ 鯨波コミセン福祉部の皆様



編集後記

新年度がスタートしました。たんねの里が開所し、法人で四施設となり、第十三号では、たんねの里のご紹介と各施設の運営方針等をお届けしました。今年度もよろしくお願いたします。

(本部事務局 林)

発行 社会福祉法人 沘山会
 柏崎市大字佐水3140番地 (電話 0257-29-3802)
 E-mail seizankai-honbu@major.ocn.ne.jp

編集 本部事務局広報委員会
 URL <http://www.fuku-seizankai.jp/>
 印刷 (有)わかい印刷